

神奈川の研究者紹介

氏名	田口 真穂 (たぐち まほ)	
現職	横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室 准教授	
主な経歴	横浜市立大学大学院医学研究科前期博士課程修了、薬学博士、東京医科大学病院薬剤部、ウィスコンシン医科大学 Research Scientist、キリンビール基盤技術研究所研究員、横浜市救急医療センターを経て、横浜薬科大学講師、2021年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	医薬品の適正使用、薬物乱用防止、緩和医療、地域医療と薬局機能、学校環境衛生に関する研究。がんの院内製剤研究等	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【著書】処方管理学, 南山堂(2017年)、学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践, 文部科学省(2018年)、モーズペーストを使いこなす, 学研(2021年)等</p> <p>【論文】Evaluation of Tumor Tissue Fixation Effects of Formulation Modified Mohs Pastes in Mice and Their Water-Absorbing Properties(2018年)、Analysis of drug adverse events in elderly patients based on the Japanese Adverse Drug Event Report Database(2022年)、高齢者の口腔内環境に多剤併用が及ぼす影響(2022年) 他多数。</p> <p>【受賞】令和元年度日本緩和医療薬学会優秀論文賞、第31回学術大会日本老年歯科医学会優秀ポスター賞(令和2年)、第11回レギュラトリーサイエンス学会学術大会優秀ポスター賞、第54回日本薬剤師会学術大会ポスターセッション最優秀賞(令和3年)等</p> <p>【委員】文部科学省「学校環境衛生基準改訂に関する委員会委員」、横浜市学校保健審議会委員、ヨコハマ未来戦略委員、特別支援学校の学校運営協議会会長等を歴任</p>	
神奈川県との関わり	神奈川県立高等学校の学校薬剤師および建築物環境衛生管理技術者を担当 神奈川県の薬物乱用防止教室指導者講習会などで講演を実施	
メッセージ	<p>現在、人口の3人に1人が高齢者という超高齢化社会を迎えています。今後、少子化により支え手となる現役世代は減少し、支えられる高齢者の割合の増加が続きます。よって、これまでの行政サービスや医療や介護、年金などの社会保障制度などを持続可能な仕組みへ工夫していく必要があります。</p> <p>横浜薬科大学は地元の戸塚区にて、医療・介護・福祉・子育ての視点から課題をとらえるヘルスケア型リビングラボの活動に参画し、行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業所、福祉施設、学校、子育てNPO、企業等と連携して、防災・減災や高齢化社会が抱える様々な社会課題の解決に取り組んでいます。</p> <p>また、学校での様々な感染症対策について、学校薬剤師は公衆衛生の専門家の立場から指導助言を行っています。私は、主に換気の研究を通じて、適切な指導・対策を実施して生徒たちが安心安全な学校生活を送れるよう啓発活動をしています。</p>	
連絡先	横浜薬科大学 臨床薬学科 レギュラトリーサイエンス研究室 〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町 601 電話：045-859-1300(代表) E-mail：m.taguchi@yok.hamayaku.ac.jp	